

2013年度第3回執行理事会議事録

期 日：2013年7月13日（土）13:00～17:00

場 所：地質学会事務局

出席者：石渡会長 渡部副会長 齋藤常務理事 井龍 坂口 高木 内藤 中澤 保柳 平田 星 松田 山路 山本、
(事務局) 橋辺

欠席者(委任状提出, 未記入議場委任): ウォリス副会長 伊藤 西 (井龍) 山口

*定足数(12, 委任状含む)に対し, 出席者14名, 委任状4名, 合計18名の出席.

*前回議事録の確認

I 審議事項

1. 選挙立会人の選出 2名 巖谷敏光(GSJ), 高橋聡(東大)会員が提案され, 承認された.
2. ロンドン地質学会との学術交流協定書(ウォリス副会長・石渡会長)
ロンドン地質学会との学術交流協定書が提案され, 理事会に諮ることとした.
これにあわせて日英400年をプレスリリースする.
3. 電子出版書籍の販売方法に関して(坂口理事)
 - ・学会, ジオストアでパスワード保護PDFを販売する.
 - ・アマゾンジャパン社のキンドルブックストアにも販売委託する.
 - ・著者への印税は10%程度とする.
 - ・販売価格は書籍ごとに検討する.
4. 地球惑星科学参照基準(案)に関するパブリックコメント(石渡会長)
会長が取りまとめてパブリックコメントを大学教育問題分科会西山委員長に提出する.
5. 各県の岩石・鉱物(石渡会長)
 - ・支部・部会をはじめ学会事業としてリストを作る.
6. 仙台大会及び年会関係について(星理事)
 - ・仙台大会からジオパークセッションは公開レギュラーセッションとする. ジオパーク支援委員会から要望のあった招待講演以外の非会員発表の扱いについては継続審議とする.
 - ・巡検案内書における露頭位置情報について行事委員会で問題提起があった. 巡検案内書は地質学雑誌の補遺として学術雑誌であるため, 位置情報は必要である. 露頭保護を強化し, より一層の喚起をすることにした. 「野外調査において心がけ

たいこと」(2008. 10. 7理事会)を案内書に掲載する.

・優秀ポスター賞の審査方法を簡略化してほしいという声が行事委員会であり, 方法を検討した. 仙台大会では, 審査員は優秀と考えられる5件を順位をつけて選ぶことにする. それを各賞選考委員長が統合して受賞ポスターを決める.

7. 資源エネルギー庁廃棄物対策室より放射性廃棄物の地層処分技術WG(仮称)委員の推薦依頼

地層処分の安全性・技術的信頼性について専門家による客観的な検証・評価が必要であるため, 資源エネルギー庁廃棄物対策室が放射性廃棄物の地層処分技術WG(仮称)を設置する. 地質学会を含めて8学会に技術委員の推薦依頼があった.

検討の結果, 渡部副会長を推薦することとした.

8. GSJ主催のG-EVERおよびCCOPに対する地質学会の対応に関して(井龍理事)

G-EVER より依頼の会長挨拶に石渡会長が対応する. CCOPの技術セッションにおける地質学会の震災対応講演依頼は高木理事が対応する.

9. 原子力規制委員会に推薦した委員との情報交換学会から推薦された, 敷地内破砕帯の現地調査・評価等を行う有識者会合委員および会員との情報交換の場として仙台大会最終日に夜間小集会を開催する.

10. 次回9月の理事会審議事項

・理事会メール審議の確認 : 全理事の承諾確認

- 1) 学術大会講演申込異議申し立てに関する処理機構規則の改正
- 2) 選挙管理委員の選出
 - ・地質学雑誌投稿編集規則の改定: プレートの廃止について
 - ・その他未定

II 報告事項

(1) 全体的報告

1. 地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会: 地質地盤情報活用検討委員会報告(齋藤常務)

学会としても新しい仕組みを活かしていく

2. 地感連合の環境災害対応委員会の災害担当委員として横山俊治会員に代わって, 新しい委員を調整中.

3. 理事会メール審議確認 : 全理事の承諾確認

- 1) 学術大会講演申込異議申し立てに関する処理機構規則の改正

- 2) 選挙管理委員の選出
阿部なつ江(JAMSTEC), 田口公則(生命の星地球博), 納谷友規(GSJ), 藤井幸泰(深田研), 山口飛鳥(東大)

4. 上町断層保存問題 その後の経過報告(高木理事)

5. 「地質学者に聞いてみよう」2件あり. 速やかに返答した.

(2) 運営財政部会: 総務委員会 (西・山本)

<共催・後援依頼, 他団体の募集等>

1. 蒲郡市生命の海科学館より地質学会の第4回惑星地球フォトコンテスト入賞作品展開催(9/28-11/4)の共催依頼を承諾

2. 第39回リモートセンシングシンポジウム(11/15)の協賛依頼, 例年通り承諾

3. 三重県環境・生活部新博物館整備推進プロジェクトチームよりシンポジウム共催の依頼: 新第三紀の終焉と第四紀の始まり—東海層群から読み解く気候変動, 11/10, 三重県総合博物館, 承諾, 表題変更(正副の入れ替え)を提案する.

4. 朝日新聞文化財団より朝日賞の推薦依頼(〆切8/31, 学会〆切8/9)→HP, geo-flash, News誌に掲載

5. 沖縄協会より, 「第35回沖縄研究奨励賞」の公募(7/15-9/30, 学会〆切8/30)→HP, geo-flash, News掲載

6. 東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の公募(10/10〆切, 学会8/30, HP, geo-flash, News誌に掲載)

<その他>

1. 第2回, 学生のヒマラヤ野外実習ツアー(吉田勝, 在田一則, 酒井哲弥): 3/6-20, 男性5名, 女性2名参加, 実施報告(News 5号に掲載), 第3回募集概要(2014/3実施予定)

2. 東京大学海洋研究所より, 東北海洋生態系調査研究船「新青丸」(淡青丸の後継船6月末竣工)による共同利用研究の公募, 10月より航海.

3. 日本水環境学会: 第22回市民セミナー「身近な水環境池, 沼, 湖の保全を考える」案内, 8/22開催

4. 挨拶状: 土木学会(新会長; 橋本鋼太郎), 無機マテリアル学会(新会長; 片山恵一), 石油資源開発(株)(代表取締役社長; 渡辺 修), 東レ科学振興会(新会長; 榊原定征)

<会員>

1. 今月の入会者(97名)

<氏名は議事録添付別紙>

正会員(11名):

正(院割) 会員(78名):

正[学部割] 会員(8名):

2. 今月の退会者(9名)

正会員(9名) 宗田和希, 中島正志, 木野雅史, 渡邊沙織, 須田 好, 西田昴広, 玉利吉朗, 鹿山 泰, 石塚師志

3. 今月の逝去者(1名)

正会員: 佐々木辰雄(2013年6月24日)

4. 2013年6月末日会員数

賛助:26 名誉:69 正会員:3792(正会員:3678, 正(院割) 会員:111, 正(学部割) 会員:3 合計 3887(昨年比 -119)

<会計>

・朝日新聞出版社のフィールドノート提供は, 想定部数1万分として, 1部200円(税込)に見合う仕様(サイズ同じ, 表紙カラーpp加工, 紙質70kg(薄), 64ページ数)で作成することとした. 利益極少, 宣伝効果に期待.

(3) 広報部会: 広報委員会 (内藤・松田)

・行事委員会と仙台大会のプレスリリース準備中
・情報展の準備(地学オリンピック, フォトコンテスト, ジオルジュでパネル5枚)

(4) 学術研究部会: 行事委員会 (星)

・仙台大会は発表予定数が約640件. 札幌大会に匹敵する発表申込数. 現在プログラム編成中.

・地質情報展(仙台市科学館)を準備中.

・巡検は申し込み受け付け中.

・そのほか企画も進行中.

・鹿児島大会(2014/09/13-15)委員長は小林哲夫会員, 事務局長は仲谷英夫会員, 巡検担当は井村隆介会員.

・巡検は9コースを行事委員会が承認.

・松本大会(2015)はLOCメンバーを調整中.

・2014年の連合大会のプログラム委員は大坪 誠会員(正)と星 博幸理事(副).

(5) 学術研究部会: 国際交流委員会 (井龍)

1) ロンドン地質学会との交流協定調印

2) 大韓地質学会の年会(10月23日-25日, 済州島)への招待状に対し, 石渡会長とウォリス副会長が訪問することとなった.

3) JpGUの新ジャーナルに関する報告(井龍理事) Progress in Earth and Planetary Scienceが立ち上がる. レビューと論説で開始.

4) 国際陸上科学掘削計画(ICDP)に関する報告(井龍理事)

(6) 編集出版部会: 地質学雑誌編集委員会 (山路)

1) 編集状況報告(7月11日現在).

・2013年度投稿論文 総数49編 [論説24(和文23

英文1)・総説2(和文2)・報告4(和文4)・
ノート1(和文1)・口絵6(和文5, 英文1)・
巡検案内書12]

・査読中31編

・受理済み14編(うち通常号5 特集号9)

近年, 投稿原稿数の面で特集号は地質学雑誌にとって不可欠だが, 最近は特集号の企画が少ないので, 仙台大会のシンポジウム・トピックセッション世話人に委員長から企画提案を促すことにした。

(7) 編集出版部会: Island Arc編集委員会(伊藤)

・編集状況ほか報告

特集号2号, 一般原稿号2号が進行中. 特集号の新規提案3号.

(8) 編集出版部会: 企画出版委員会(山口・保柳)

・電子出版物「地学を楽しく」の査読終了.

・富士山・青木ヶ原たんけんマップ, 校閲開始

(9) 社会貢献部会(高木・平田・中澤・保柳)

・5月開催の地質調査研修に6名の参加があった.

次回は11月中旬開催で調整中.

(10) ジオパーク支援委員会(高木)

・仙台大会でレギュラーセッション化.

・国内ジオパーク10地域, 世界ジオパーク候補地4地域の審査. さらに, GGNによる世界ジオパーク3地域の4年目の再審査が進行中.

(11) 地学オリンピック支援委員会(平田)

仙台大会の小さなサイエンティストの集いおよび情報展にてポスター展示.

(12) 震災復興事業プラン検討WG(高木・西・藤本・斎藤)

2011年度採択の実施報告書がニュース誌に1件投稿され, 6件の報告は終了見込み. 仙台大会では2012年度採択のポスター報告がある予定.

2013年7月26日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会長(代表理事) 石渡 明

署名人 執行理事 斎藤 眞